

令和6年2月定例会

予算決算委員会資料
(消防本部)

緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練の開催について

「緊急消防援助隊」は、被災地の消防力では対応困難な大規模災害が発生した際、全国から応援に駆けつけ、災害救助活動を行います。

ブロック合同訓練を開催することで、本市が被災した場合の応援体制および関係機関との相互連携の状況を確認し、顕在化した課題を改善し、大規模災害への対応力の強化を図ることができます。

令和6年度は下記のとおり秋田市をメイン会場として実施されます。

記

1 開催日時

令和6年11月2日（土）、3日（日）

2 開催場所

メイン会場	秋田市新屋	旧空港跡地（3日）
会場	秋田市向浜	埠頭（2日）
	秋田市新屋	陸上自衛隊新屋演習場（2日）
	大仙市協和	土取り及び残土処理場（2日）
	秋田市八橋	八橋運動公園（2日）

3 参加部隊

北海道、青森、岩手、宮城、山形、福島、新潟、秋田の1道7県から
220隊836名

4 関係機関

防衛省、海上保安庁、国土交通省、警察本部等15団体と参加について調整中
※各機関の参加可否や参加規模は、令和6年度に決定するものです。

5 開催状況と事業費

(1) 開催状況

緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練は、総務省消防庁および各地域ブロック合同訓練推進協議会の主催で、毎年度、全国6ブロックで開催される。秋田県は、北海道東北ブロックに属しており、秋田県開催は平成28年能代市開催以来8年ぶり、秋田市開催は平成12年以来24年ぶり2回目となる。

(2) 事業費 2,980千円

全国救急隊員シンポジウムの開催について

「全国救急隊員シンポジウム」は、日本の救急医療の振興を図るため、全国の救急隊員等を対象とし、消防実務の研究発表や最新の医学的知識等を学ぶ場を提供することにより、消防機関が行う救急業務の充実と発展に資するものです。

令和6年度は、下記のとおり秋田市を会場として開催されます。

記

1 開催日時

令和6年11月21日（木）、22日（金）

2 開催場所

あきた芸術劇場ミルハス
にぎわい交流館AU
秋田市文化創造館

3 参加者と参加見込人数

(1) 参加者

全国の救急隊員、医師および医療関係者

(2) 参加見込人数

各日約4,000人 延べ8,000人の見込み

4 開催内容

救急隊員や医師等による救急実務の症例および調査研究発表
医師等による教育講演や救急隊員への技術訓練指導
医師等および救急隊員の公開討論会
市民を対象にした公開講座

5 開催状況と事業費

(1) 開催状況

一般財団法人救急振興財団と開催地消防本部との共同により、これまで政令指定都市を中心に開催され、令和5年度名古屋市での開催が32回目となる。

過去、東北では仙台市が平成4年度の第1回と令和元年度の第28回大会を開催している。秋田市での開催は初となる。

(2) 事業費 2,793千円